

令和3年度 事業報告

1 総括

当財団は、設立以来、県民の総合的な健康づくりを推進するため、生活習慣病等の疾病予防、早期発見等に関する事業を行い、県民の保健・医療及び福祉の向上に努めてきた。

令和3年度の各種健診・検査事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当初の計画から大幅な変更を余儀なくされた令和2年度に比べ、若干の変更があったものの、概ね計画どおりの日程で実施することができた。

当財団事業の柱である市町村を対象とした地域健（検）診では、健（検）診会場の感染防止策をより一層徹底して安全性を周知するとともに、健（検）診の必要性を発信することで、健（検）診受診者数の回復に向けて、市町村と一体となって取り組んだ。その結果、地域健（検）診受診者数は令和2年度比約130%まで持ち直した。しかし、令和元年度と比較すると約85%にとどまっており、受診者数回復のため、さらなる取り組みが喫緊の課題となっている。

検査事業についても、大半が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に戻りつつあるが、コロナ禍で低調となった経済活動の影響は尾を引き、検査項目によっては件数が回復していない。

普及啓発事業では、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2021 ぐんま」のリレーイベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から代替として小規模イベントを予定していたが、開催目前の緊急事態宣言発令により中止を余儀なくされ、代わりに、財団敷地内でルミネリエ点灯イベントを開催した。がん征圧月間等の行事についても、令和2年度に引き続き、街頭キャンペーン等は中止し、県庁昭和庁舎や臨江閣（前橋市）をそれぞれの活動のシンボルカラーでライトアップした。また、群馬県地域保健研究発表会についても、令和2年度と同様にオンライン開催とした。

このほか、令和元年度に策定した中期事業計画に基づき事業を推進するとともに、職員の資質向上、国の働き方改革に対応した体制整備に努めた。

2 重点実施事項

(1) 体制整備

① 総合的なリスクマネジメント体系の整備

財団が行う医療や各種健診・検査の現場における医療安全管理を組織的に管理し、安全や信頼性の向上に努めた。また、ヒヤリハット事例の報告・周知に徹底して取り組み、職員の情報共有を推進した。

② 健康経営優良法人の認定

職員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に職員への健康投資を実践していくことにより、職員の活力向上や生産性の向上、組織の活性

化を図り、業績向上につなげていく「健康経営優良法人」認定制度に取り組んだ。2021年に引き続き2年連続で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定された。

③ 職員の資質向上

全職員を対象とした財団内部の各種研修では、ZOOM等を活用したリアルタイム研修の他、オンデマンド形式の研修も取り入れた。また、外部団体主催の研修は、オンライン配信型も増え、会場に参集せずとも研修を受けられるという強みを生かし、引き続き職員の知識・技術の向上に努めた。

内部研修 新規採用者研修、リーダー研修、個人情報保護研修、セルフケア研修、医療安全研修等を開催

外部研修 本部三団体（（公財）結核予防会・（公財）日本対がん協会・（公財）予防医学事業中央会）その他団体が主催する各種専門分野63の研修会を職員（延べ125名）が受講

④ 個人情報の保護

健診機関としての社会的責任を認識し、個人情報保護に努めるため、令和3年7月にプライバシーマーク（個人情報保護マネジメントシステム：有効期間2年間）を更新した。個人情報の取り扱い・管理の徹底を継続して実施し、個人情報保護に万全を期した。

（2）健診検査事業

令和2年度に引き続き、「新型コロナウイルス感染症県内発生状況下の健診実施基準」に基づき、健（検）診を実施した。地域・職域健（検）診の他、学校検診についても、受診者及び従事職員の安全を確保した上で、新型コロナウイルス感染症拡大前と概ね同程度の日程で健（検）診を実施するに至った。

① 循環器健診

新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度の循環器健診を中止とした4市を含む、すべての市町村で健診を再開した。

依然、受診控えの傾向もみられるが、地域健診の受診者数は30.7%増加した。また、一部市町村では時間予約制による実施計画が進んだ。

職域健診も受診者数は5.5%の微増となった。

② がん検診

肺がん検診（一部）を2市、胃がん検診を1町から新規受託した。肺がん検診、胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診の全てで、受診者数が令和2年度に比べ約20～30%増加した。

乳がん検診のうち、乳房超音波検査は大泉町のみで実施しており、受診者数は令和2年度から149.8%の大幅増加となった。

また、視触診検診（地域）は、「がん検診指針」改正の流れを受けて1町が打ち切りとしたが、全体で見ると受診者数は令和2年度から19.4%増加している。

③ 保健指導

初回分割型特定保健指導を2町村から新規に受託した。循環器健診受診者数が回復したこともあり、実施数は令和2年度から26.5%増加した。

引き続き、事業所職員を対象にICTを活用した「リモート保健指導」を実施した。

④ 学校保健検査

令和2年度は5月末まで続いた休校措置の影響で、検診日程の大幅な変更を強いられたが、令和3年度は感染に十分留意しながら、概ね当初の計画どおりに検診を実施することができた。なお、実施件数については、一部受託件数が減少した他、児童・生徒数の減少もあり、微減傾向にある。

⑤ 診療所

業務の一時休止や3密回避を目的とした受け入れ人数制限を実施した令和2年度に対し、令和3年度は十分な感染対策を講じた上で、受け入れ人数等を通常期並みに戻したことにより、施設内健診は令和2年度から28.8%増加した。

また、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種については、「連携型接種施設」として、延べ6,755回の接種に対応した。

⑥ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する事業

ア ワクチン接種

集団ワクチン接種を行う市町村等の要請に基づき、6市町村及び1事業所に対して予診医師、看護師等を派遣した。

イ PCR検査

海外渡航者、研修・実習参加予定者の他、感染の不安を抱えている方等を対象に、唾液によるPCR検査を221件実施した。

(3) 普及啓発事業

① リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2021 ぐんま

令和2年度に引き続き、第9回目に当たる今大会も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、通常開催を見送り、代替イベントとして財団敷地内で「ルミナリエ点灯イベント」を開催した。

また、がん患者やその家族等を支援するメッセージ動画をリレー形式で繋いで作成した「応援リレー動画」は、サバイバーをはじめ多くの方々から好評を得た。

コロナ禍という大変な状況が続いているにも関わらず、企業、関係団体及び個人から多くの協賛金や募金をいただき、その募金総額は4,211,268円（全国1位）となった。

② がん征圧啓発

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「乳がん検診受診促進母の日キャンペーン」や「がん患者ミーティング」は令和2年度に引き続き中止としたことから、9月の「がん征圧月間」に合わせて、県庁昭和庁舎のライトアップを行った。

また、乳がん月間に当たる10月にも、県庁昭和庁舎と臨江閣（前橋市）のライトアップを行った。

③ 地域保健研究発表会

令和4年3月、県内地域保健関係者の研究発表の場として、「群馬県地域保健研究発表会（第9回）」（会場：群馬県健康づくり財団 大会議室）を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度に引き続き、座長と発表者のみ会場に参集する形式をとった。当日は10名の発表者が日頃の研究成果を発表し、また、その模様は多くの県内関係者がオンライン配信で聴講した。

④ あさを賞

令和3年12月、県民の健康増進または疾病予防等に役立つ8件の調査研究に対し、健康づくり研究助成「あさを賞」助成金の交付を決定した。

（4）群馬県からの受託事業等

- ① 「全国がん登録事業」、「臓器移植推進事業」及び「群馬県がんピアサポーター派遣事業」を引き続き受託し、実施した。
- ② 「受診・相談センター電話対応業務」を受託し、県庁内コールセンターへ職員を派遣した。

3 主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
6月9日	理事会(理事8名・監事1名出席)
6月24日	評議員会(評議員14名出席)
8月3日	群馬県健康福祉部副部長表敬訪問(複十字シール募金運動協力依頼)
9月14日	プライバシーマーク付与適格性更新審査 ※ 通常、認定更新月に実施される現地調査が、新型コロナウイルス感染症拡大のため9月に延期。 令和3年7月7日に遡って認定更新となった。
10月8日	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021ぐんま のリレーイベントを中止 公益財団法人群馬県健康づくり財団で代替イベントを開催
12月10日	健康づくり研究助成「あさを賞」選考委員会(8件の助成を決定)
3月16日	理事会(理事12名・監事1名出席)
3月22日	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「群馬県地域保健研究発表会」をオンラインで開催(10題の演題発表)
3月25日	評議員会(評議員13名出席)

4 事業基盤の確立

(1) 賛助会員

区 分	会費(1口)	会員数(件)	金額(円)
法人会員	10,000	52	520,000
団体会員	5,000	40	200,000
個人会員	1,000	22	22,000
合 計		114	742,000

5 事業実績

(1) 普及啓発事業

項 目		活 動 内 容
週 間 月 間 行 事	がん征圧月間 (9月)	年間を通じ、群馬県がん患者団体連絡協議会と連携して啓発キャンペーンを実施した。 がん征圧月間では、県庁昭和庁舎や臨江閣のライトアップを実施したほか、新聞広告掲載や関係機関へポスター配布(1,500部)等を行った。
	結核予防週間 (9月24日～30日)	新聞広告掲載や関係機関へポスター配布等を行った。(ポスター 600部、パンフレット 1,350部)
	臓器移植普及 推進月間(10月)	県庁昭和庁舎や臨江閣でグリーンライトアップキャンペーンを実施した。各市町村の成人式でリーフレットを配布して意思表示の促進を図った。(群馬県からの受託事業)
行 事 開 催	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2021ぐんま	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会事務局として、令和3年10月9～10日にALSOKぐんま総合スポーツセンターで第9回大会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、従来のリレーイベントを中止し、代替イベント等を開催した。 ○ルミナリエ点灯イベント 令和3年10月8日 公益財団法人群馬県健康づくり財団 受診者・来客者用駐車場、1階エントランス ○応援リレー動画作成 中止したリレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんまの精神を絶やすことなく、令和4年度に繋いでいく決意の象徴として、30団体から寄せられたがん患者やその家族を応援する動画をリレー形式に編集し、YouTubeで公開した。 ○チャリティー活動の実施 募金総額 4,211,268円(全国1位)
	ショッピングモール けんしん (群馬県主催)	12月16日にイオンモール太田で、県、市町村と連携し、近隣市町村の住民を対象に乳がん検診を実施した。当日は、がん検診普及啓発キャンペーンも行われ、当財団も乳がんモデルの設置や啓発資材の配布等とおして、がん検診受診の重要性を呼びかけた。
	群馬県地域保健 研究発表会	県内の地域保健関係者が、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表する 群馬県地域保健研究発表会を令和4年3月22日に開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ZOOMによるオンライン開催とし、10の演題が発表された。
行 事 協 賛	ぐんまマラソン (第31回)	「第31回ぐんまマラソン」に協賛し、参加者の健康意識の啓発を行った。
複十字シール運動		結核や肺がん・COPDを含む胸部に関する疾患をなくして、健康で明るい社会を作るため、これらの病気に関する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集めるために行われる募金活動を実施した。(結核予防会主催の全国運動)(募金額 2,730,340円)
健 康 教 育 資 料 提 供	機関誌発行	機関誌「健やかぐんま(No.32～No.35)」を発行した。 (8ページ構成、8,500部、年4回)
	機関誌等の配布	各種関連団体が発行する機関誌(予防医学ジャーナル(378部)・複十字(1,380部)・対がん協会報(2,860部)・健康の輪(189部))を関係機関に配布し、健康関連情報を提供した。
	教育資材の貸出	市町村等関係団体に対し、血管年齢・ストレス測定器(1団体)を貸し出した。

(2) 健診検査事業

① 胸部検診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
胸部(結核)検診	地 域	1,123	1,028	109.2
	職 域	29,362	28,884	101.7
	学 校	23,844	24,695	96.6
	合 計	54,329	54,607	99.5
肺がん検診	地 域	93,472	75,761	123.4
	読影受託のみ	9,356	2,969	315.1
	職 域	1,486	1,406	105.7
	合 計	104,314	80,136	130.2
ア ス ベ ス ト 検 診		552	593	93.1
じ ん 肺 検 診		105	185	56.8

② 循環器健診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
循 環 器 健 診	地 域	31,998	24,486	130.7
	職 域	37,031	35,084	105.5
	合 計	69,029	59,570	115.9
A B C 検 査	地 域	1,420	1,160	122.4
【特定健診件数内数】 特定健診 詳細項目	心電図検査	10,692	8,985	119.0
	眼底検査	7,872	6,321	124.5
風しん抗体検査	地域・職域	550	1,174	46.8

③ 胃がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
胃 がん 検 診	地 域	19,746	14,768	133.7
	職 域	4,897	5,219	93.8
	合 計	24,643	19,987	123.3

④ 子宮頸がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
子 宮 頸 がん 検 診	地 域	22,015	17,789	123.8
	職 域	949	903	105.1
	合 計	22,964	18,692	122.9

⑤ 乳がん検診・(甲状腺)検診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
視 触 診 検 診	地 域	5,577	4,670	119.4
	職 域	440	394	111.7
	合 計	6,017	5,064	118.8
マンモグラフィ検査	地 域	21,101	15,790	133.6
	職 域	884	887	99.7
	合 計	21,985	16,677	131.8
乳 房 超 音 波 検 査		1,576	631	249.8
合 計		29,578	22,372	132.2

⑥ 大腸がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
大腸がん検診	地 域	23,012	18,015	127.7
	職 域	2,440	2,600	93.8
	合 計	25,452	20,615	123.5

⑦ 前立腺がん検診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
前立腺がん検診	地 域	12,518	9,927	126.1
	職 域	139	128	108.6
	合 計	12,657	10,055	125.9

⑧ その他健診

・保健指導(初回面接分割型を除く)

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
特定保健指導	積極的支援	148	146	101.4
	動機付け支援	203	214	94.9
一 般 保 健 指 導		327	376	87.0
合 計		678	736	92.1

・初回面接分割型保健指導

(単位:人)

区 分		令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
特定保健指導	初回実施数	767	406	188.9
階 層 化 後	積極的支援	168	87	193.1
	動機付け支援	489	245	199.6
	情報提供	82	52	157.7
	医療優先	28	22	127.3

・健康サポート事業

(単位:件)

区 分	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
健康サポート事業	2	1	200.0

・骨密度検診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
骨密度検診	地 域	2,101	1,884	111.5
	職 域	68	57	119.3
	合 計	2,169	1,941	111.7

・歯周疾患検診

(単位:人)

区 分	対 象	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
歯周疾患検診	地 域	51	0	-
歯科検診	職 域	792	763	103.8
唾 液 検 査	地 域	150	168	89.3
	職 域	206	228	90.4
合 計		1,199	1,159	103.5

・心身の健康づくり事業

(単位:人)

区 分	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
心身の健康 づくり事業	個別カウンセリング	4	200.0
	ストレスチェック	14,785	105.3
	合 計	14,789	105.3

⑨ 腸内細菌等検査

(単位:件)

区 分	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
腸 内 細 菌 等 検 査	69,122	73,031	94.6

⑩ 病理検査事業

(単位:件)

区 分	内 容	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
病 理 検 査	細胞診検査	40,710	36,718	110.9
	組織診検査	5,822	6,427	90.6
	喀痰細胞診検査	2,316	2,190	105.8
	合 計	48,848	45,335	107.7

⑪ 学校保健検査

(単位:件)

区 分	内 容	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
学 校 保 健 検 査	寄生虫検査	317	290	109.3
	尿 検 査	128,360	131,989	97.3
	血 液 検 査	1,749	1,774	98.6
	貧 血 検 査	21,467	22,910	93.7
	心 臓 検 診	63,108	64,366	98.0
	小児生活習慣病健診	3,905	3,855	101.3
	合 計	218,906	225,184	97.2

⑫ 先天性代謝異常検査

(単位:件)

区 分	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
先 天 性 代 謝 異 常 検 査	14,129	14,253	99.1

⑬ 食品検査

(単位:件)

区 分	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
食 品 検 査	13,194	14,434	91.4

⑭ 水質検査

(単位:件)

区 分	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
水 質 検 査	19,467	19,226	101.3

⑮ 診療所健診

(単位:人)

区 分	内 容	令 和 3 度 実 績	令 和 2 年 度 実 績	前 年 比 (%)
精 密 検 査	胃 が ん	46	54	85.2
	大 腸 が ん	31	25	124.0
	乳がん・(甲状腺)	322	298	108.1
	そ の 他	515	540	95.4
	合 計	914	917	99.7
施 設 内 健 診	日帰り人間ドック	1,701	1,573	108.1
	その他健康診断	13,868	10,511	131.9
	合 計	15,569	12,084	128.8

・ がん登録状況(暦年)

(単位:件)

区分	登録の状況	届出の状況	
	罹患数	届出票の届出数	病医院及び診療所数
平成6年	6,303	2,648	92
平成10年	6,513	5,101	79
平成20年	12,111	7,738	74
平成25年	14,407	19,213	99
平成26年	14,727	19,797	97
平成27年	15,092	20,982	93
平成28年	16,255	13,471	80
平成29年	16,482	26,559	95
平成30年	16,269	23,138	110
令和元年		23,221	109
令和2年		24,725	101
令和3年		22,655	101
累計(平成6年～令和3年)	241,455	340,407	2,187

注:「登録の状況」平成25年以降の件数については、地域がん登録から全国がん登録に移行したため、国(国立がんセンター)により集計されています。

注:平成6年から実施。平成7年～9年、平成11年～平成19年、平成21年～24年は記載省略。

・ がんピアサポーター派遣状況

年度	派遣先(医療機関)数	延べ派遣人数(人)	
平成25年(※)	3医療機関	90	※受託期間は半年
平成26年	6医療機関	224	
平成27年	8医療機関	261	
平成28年	9医療機関	283	
平成29年	10医療機関	314	
平成30年	11医療機関	333	
令和元年	11医療機関	322	
令和2年	-	0	※新型コロナウイルス感染症の影響で派遣なし
令和3年	1医療機関	2	※個別相談
累 計	59医療機関	1,829	

注:平成25年から実施。